

# 事業報告

## 平成30年度 教育事業 タイニーキャンプ③

平成31年2月16日(土)～17日(日)

【対象】小学生(低学年)

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

### ～趣 旨～

小学校低学年の子どもたちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して自分に自信をつけ、協調性を育むきっかけづくりとする。

### ～主催・後援団体～

主 催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

後 援：伊那市 伊那市教育委員会

### ～活動日程～

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1 日 目						開 会 式	昼 食	活 動 準 備	”雪の中で遊ぼう” 「そりあそび」 「ネイチャービンゴ」			夕 べ の つ ど い	夕 食	入 浴	絵 本 読 み 聞 かせ	就 寝 準 備	就 寝
2 日 目	起 床	朝 の つ ど い	朝 食	清 掃	“みんなで作ろう！ みんなで食べよう！” 「けんちん汁&おにぎり作り」			閉 会 式									

### ～参加者～

小学1・2年生 計35名（長野県：32名、山梨県：1名、東京都：1名、静岡県：1名）

### ～活動トピックス～

#### 活動Ⅰ 「雪の中で遊ぼう」～冬の自然体験活動～

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

120mのそりコースを使い、そり遊びを行った。少ない積雪ではあったが子ども達は皆、身体を上手に使いバランスをとりながら滑っていた。そり遊び後はネイチャービンゴを行った。グループ毎に森の中で自然を観察しながら、色や形、匂いや手触りなど諸感覚を使って自然を感じることができた。





## 活動Ⅱ「絵本の読み聞かせ」

講師：ボランティア

グループ毎、担当ボランティアが絵本の読み聞かせを行った。子ども達が好きな絵本を数冊選び、各宿泊棟で静かに読み聞かせた。子ども達は皆目を輝かせながら聞き入っていた。

## 活動Ⅲ みんなで作ろう！みんなで食べよう！「けんちん汁・おにぎり作り」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員、ボランティア

「けんちん汁」と「おにぎり」作りを実施した。子ども達は野菜の皮をむいたり、切ったり、おにぎりをにぎったり、一生懸命活動に取り組んだ。子ども達からは「みんなで作ったごはんは、すごくおいしい！」と笑顔あふれる調理体験となった。



### ～参加者の声～

#### 《参加児童》

- ・そり遊びが楽しかった。お兄さんお姉さんが優しくかった。
- ・初めてお父さんとお母さんと離れて過ごしてさみしかったけど、友達ができて嬉しかった。
- ・山の中はすごく静かだった。自然の中でいろんなものを見つけた。

#### 《保護者》

- ・以前は、楽しかったことがあっても言葉ではあまり伝えてくれませんでした。今回はしっかりと自分の気持ちや感じたことを伝えることができ、すごくうれしかったです。夜、話を聞いて思い出してしまい泣いてしまいました。本人にとってすごく成長をしたと思います。
- ・「すごい楽しかった！」と大満足の様子でした。大学生のお姉さんと、班が一緒になった女の子と仲良く過ごし、さみしい思いをすることなく一緒にいろんな体験をさせてもらったことで、人と関わること、新しい環境でも一人で頑張れること、娘にとって大きな自信になったと思います。

### ～成果と課題～

- 活動毎に「がんばりカード」を用いて振り返りを行った。キャンプでの目標を明確に示し、カードを使って自分たちの活動を振り返ることで、次の活動への意識づけや意欲の向上につながったと感じる。
- 今年度は降雪量が少ない中ではあったが、職員により雪を運び入れ、実施することができた。そり遊び後に行ったネイチャービンゴではグループで協力して課題を見つける姿が見られ、冬の時期のならではの自然を観察・発見する機会になったと感じる。今後、プログラム内容を検討しながら充実を図っていきたい。
- 降雪量が少なくなってきており、雪の中での十分な活動が実施できていない現状がある。雪の中での活動は参加者、保護者からのニーズもあるため開催時期の検討が必要である。